

令和4年度 兵庫自治学会研究発表大会 発表者を募集します!

令和4年秋に開催する研究発表大会分科会の発表者を募集します。勉強会などのグループでの発表も大歓迎です。日頃の研究成果を発表してみませんか?あなたの発表がこれからの地域社会を変える第一歩となるかも知れません。

応募方法は以下のとおりです。積極的なご応募をお待ちしています。

研究発表大会の概要(予定)

開催日

令和4年10～12月の土曜日又は休日

場所

神戸市内

構成

(午前:全体会) 基調講演

(午後:分科会) 各分科会での研究発表及び意見交換

発表者一人当たり30分間(そのうち発表時間は20分間)

パワーポイントの使用や資料配付が可能

募集テーマ

令和4年度研究発表大会のテーマは、「ポストコロナ社会の多様な働き方について考える」です。このほかにも、行政課題や地域課題に関するものなら全ての研究成果が対象です。文化、福祉、環境、産業、まちづくり、教育、防災など分野を問いません。

応募方法

A4サイズの用紙に次の事項を記載し、メール又はFAXでご応募ください。

①所属、②氏名(グループ名)、③住所(所属・自宅とも)、④連絡先(TEL/FAX)⑤メールアドレス⑥発表テーマ、⑦発表の概要(研究の内容や発表趣旨を300字程度で簡潔に記載してください)

応募締切:令和4年6月15日(水)

応募資格

どなたでもご応募いただけます。個人だけでなくグループでの応募も可能です。

なお、発表者については、当学会で定める選考基準に基づき選考の上、決定します。

研究発表大会までのスケジュール(予定)

6月15日(水) : 募集締切

7～8月 : 発表者決定

8～11月 : 事前アドバイス

10～12月 : 研究発表大会

【事前アドバイス(8～11月)について】

学識者によるアドバイスを受けて、発表までに内容の充実を図っていただけます。発表者はこの時までには発表に使用するパワーポイントデータ等を提出いただけます。

その他

優秀な発表者には学会から表彰・副賞(研究奨励金)が授与されるとともに、学会誌「兵庫自治学」及びホームページに論文が掲載されます。

また、その他の発表者には記念品(図書カード)を差し上げています。(個人、グループ単位)



研究発表大会分科会の様子

令和3年度兵庫自治学会研究発表大会 優秀発表者等表彰式を開催しました。

3月22日(火)令和3年度研究発表大会における優秀発表者及び特別賞受賞者(大会は昨年10月2日に新型コロナウイルス感染症への対応としてオンラインにより開催)の表彰式を兵庫県民会館で開催しました。

受賞者には山下淳代表運営委員から賞状が授与されるとともに優秀発表者には一般財団法人地域政策研究会の馬場英司理事兼事務局長から研究奨励金(3万円)が授与されました。また特別賞受賞者には山下代表運営委員から図書カードが授与され、加藤恵正代表運営委員がお祝いの言葉を述べて受賞者の研究活動の益々の発展を祈念しました。

その後、各受賞者から研究内容の説明がありました。

今回は皆さんが選ばれるかも知れません。令和4年度の発表者を募集しますので、是非ご応募ください!

優 秀 賞

○兵庫県立農林水産技術総合センター酒米試験地

池上 勝

テーマ:「温暖化に対する酒米の栽培技術と新品種の開発」

○追手門学院大学地域創造学部地域創造学科藤原ゼミ

安積 紗菜、清水 龍、野間 須巨

テーマ:「兵庫県における地元就職支援政策と大学生の意識」



池上さんと兵庫県立大学環境人間学部の
皆様はオンラインで参加

特 別 賞

○神戸シルバー大学院(第14期生)、いばしょ

上田 尚男

テーマ:「日本の子どもの貧困に関する研究」

○兵庫県立大学環境人間学部太田ゼミ

大西 飛勇吾、岡田 ほのか、壽賀 菜々葉、

中島 勇風、村田 萌々香

テーマ:「コロナ禍における一人暮らし大学生の住環境の現状と課題
—姫路市内の大学生協オリジナルマンションを事例として—」



○関西学院大学経済学部上村ゼミ13期生 自治体AI研究チーム

小林 亮輝、小手川 菜波、本田 凌一、瀧 虎ノ介、上野 優寿希、吉村 紗也加、吉井 健次郎、

森川 紗帆、永田 理帆、山本 貫太、西岡 沙耶、山本 瑠香、小澤 将秀、上田 亜希子、

高波 寛生、吉野 蒼汰、後藤 亮平、石原 嵩大、竹中 実咲季、牧野 有華、増家 圭、

津守 壮大朗、福原 楽

テーマ:「兵庫県内市町におけるAIの現状と導入に向けた施策のあり方」

※優秀賞の論文は学会誌「兵庫自治学第28号」(2022年3月発行)及びホームページに掲載しますので、そちらも併せてご覧ください。

兵庫自治学会は令和4年度に次の事業を実施します。 会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

令和4年度事業計画(要旨)

- ・総会・研究発表大会の開催
- ・コラボレーション・プロジェクト、グループ研究応援事業の実施
- ・兵庫自治学会セミナーの開催
- ・全米公共・行政学会(ASPA)との交流の推進
- ・学会誌「兵庫自治学」第29号、会報「Policy」の発行
- ・メールマガジンの発行、ホームページの運営等

地域での自主的な研究活動やセミナー開催等に 10万円まで助成します!

兵庫自治学会では、様々な地域課題の研究活動に取り組まれている会員の皆様を支援するため、研究費を助成する「グループ研究応援事業」や講師を招いて行うセミナー等の開催を支援する「コラボレーション・プロジェクト」を行っています。詳しくは事務局までお気軽にご相談ください。(受付は先着順で、認定は両制度合わせて年間3件までとなっています。また、同一年度に両制度に申請することはできません。)

●グループ研究応援事業

様々な地域課題に関する研究活動(月1回程度の研究会を概ね1年以上継続的に開催する活動)に、上限10万円までの研究費助成や研究アドバイザーの紹介が受けられます。

〈対象者〉5名以上で構成され、そのうち会員が過半数を占めるグループ

●コラボレーション・プロジェクト

県・市町職員、NPO、企業、地域など様々な人々とのコラボレーションにより、会員が自主的に企画・開催するプロジェクト(セミナー、パネルディスカッション、ワークショップ等)を学会と共催するもので、上限10万円までの助成が受けられます。

〈テーマ〉地域に密着した課題、行政施策に関する課題等

〈企画者〉①10名未満のグループ：代表者を含む構成員の過半数が会員であること。

②10名以上のグループ：代表者を含む構成員の5名以上が会員であること。

全米公共・行政学会(ASPA)全国大会等への 参加経費を助成します!

会員の皆様の国際的な研究活動を助長するとともに、全米公共・行政学会との交流の促進を図るため、全米公共・行政学会の主催する全国大会等の会議、セミナー等への参加経費について助成します。

関心のある方や詳しく内容を知りたい方は事務局までお気軽にご相談ください。

助成対象	助成金額
①全米公共・行政学会全国大会への参加	上限15万円
②全米公共・行政学会エバーグリーン支部開催の会議・セミナー等への参加	



新型コロナウイルス感染症拡大と家族

：経験をどう活かせるのか

甲南大学文学部教授
中里 英樹

2020年の1月に横浜港を出港したクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号上での新型コロナウイルスの感染拡大が大きな注目を集めた後、日本国内における市中感染が明らかになり、2月の終わりに急転直下、全国一斉に小中学校等の休校の要請が行われた。数度の緊急事態宣言や蔓延防止措置を経て、2年以上経った現在までこの感染症の社会への影響は続いている。

この間、このウイルスやその感染症自体の研究はもちろんだが、その社会への影響に関する調査・研究も重ねられてきた。この時代を生きている多くの人たちの経験したことのない事態に直面していることになるが、2年間にわたって行われて来たさまざまな調査・研究によって、これまで社会に潜在していた課題がより顕著な形で現れたということもしばしば指摘されるところだ。そこで、この段階で、さまざまな研究者や実践家が、関心の中心は多様ながら新型コロナと家族について行われた調査や研究について、その全体の見取り図を確認しておくことは、新型コロナウイルス感染症との格闘を経験した後の社会において自治体がすべきこと、できることを考えていくうえで意味のあることだろう。

まず、1回目の緊急事態宣言発出中を中心に社会の関心を集めたのは、「ステイホーム」という言葉の広がりによって表される外出自粛の影響である。2月末からの全国一斉の休校の際には、子どもの在宅に対応するための親の休業や放課後児童クラブ（学童保育）の開室への働きかけなどの方策が関心の中心となった。また、緊急事態宣言の発出とともに人の流れ全体の8割を減らす必要性が提言されると、テレワークが推奨され、一気に在宅勤務が進められた。このような在宅勤務の増加に伴う夫婦の役割や関係の変化については、次のようなことが明らかになった。夫婦が同じく在宅勤務をしても、特に女性において、家事・育児負担が増大し、疲弊していること、一方で、夫の家事育児時間が増大した世帯では夫婦の関係がよくなるという側面も見られること、などである。

さらに、もともとDVや虐待の被害を含め、家族との関係が悪かった場合は、その中で過ごさなければならぬ時間が増加することで、困難が深刻化したり、それをきっかけに避難に踏み切るという事態も生じたという。2020年にDVや性暴力の相談が前年同時期と比べて増加したというデータもこのことの傍証として示されている。

こうした在宅勤務や休校・授業のオンライン化などにもなう「ステイホーム」の拡大による変化の一方で、医療・保育・介護や、生活必需品の販売など、在宅勤務や休業自体が困難な業務に従事するいわゆる「エッセンシャル・ワーカー」たちは、平時以上に過重な労働を強いられながら、感染のリスクにさらされ、さらにそのことによる本人や家族に対する差別的な周囲の反応に苦しむことさえあった。また家族の感染を避けるために、本人と家族とが生活を分けざるを得ない事態も生じた。

上記のような知見は、メディアなどでもしばしば目にしたものである。これ以外にも、介護が必要な高齢者や障がいを持つ子どもの家族、ひとり親家庭など、コロナ以前から社会的に困難を抱えることの多かった人々が、特別支援学校を含む学校の休校、介護サービスの利用制限や自粛、就業の時間の減少や失業などによって、他の人たち以上の困難を経験していたことも明らかになっている。

このように、これまでにない事態として日本だけでなく多くの国が直面した新型コロナウイルス感染症は、家族への影響という点で地震や台風などの自然災害とどのように異なるのだろうか。災害と家族やジェンダーに関する研究は、日本であれば、阪神・淡路大震災や東日本大震災での経験を踏まえて蓄積され、行政の計画などにもその成果が採り入れられている。

自然災害が、身体的被害を免れた家族をまずその住居から引き離し、避難所などの「外部」に開かせるのに対して、新型コロナ感染症の拡大は多くの個人を社会から切り離し、さまざまな課題を家族の中に押し込めることになった。一方で、身体的な被害を免れた場合でも、感染のリスクを考慮して家族が分断される場合があった。上記で整理したようなコロナ禍で生じた課題はこうしたことを反映しているだろう。

このような点で確かにこれまでにない対応を迫られ、研究や経験を積み重ねてきたといえるが、災害の復興において生じた世帯単位での政策対応の問題点などは、コロナ対策の課題と重なる部分もある。この2年で明かになった、感染症の急拡大の家族への影響とその対応の経験を自治体において今後活かしていくために、何が求められるだろうか。例えば家族政策と密接な関連を持つ男女共同参画計画を通じて「防災」にジェンダーの視点を入れることが定着したように、それとの共通点や相違点を精査した上で感染症拡大対策を計画に盛り込み、ジェンダーや家族の視点に立った備えをしておくことは、必要なことの1つといえるだろう。



【お知らせ】

一般財団法人地域政策研究会の助成制度

兵庫自治学会の活動にご協力をいただいている一般財団法人地域政策研究会の助成制度をご紹介します。調査・研究を進めるにあたって、是非ご活用ください。

- 助成対象分野** 地域政策に関する調査、研究(テーマは自由)
- 助成対象者** 兵庫県内の自治体(県、市、町)に勤務する職員グループ
- 助成額** 1件30万円以内(講師謝礼、図書費、交通費等)
- 応募方法** 令和4年5月20日(金)までに直接申込
- 採否の決定** 審査のうえ決定
- お問い合わせ** 一般財団法人地域政策研究会

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4-2-18 キンキビル6F

TEL:078-362-1456 FAX:078-362-6212 E-mail: info@hyogo-rp.net

*応募用紙等は、所属、職名、氏名、住所、電話番号を明記の上、メール又はFAXにて財団へご請求ください。

兵庫自治学会の交流の輪を拡げましょう!

学会では入会促進を積極的に呼びかけておりますが、会員のみなさまにおかれましても、関心のある方にお声かけをいただく等の呼びかけにご協力をお願いいたします。

【入会するとこんなメリットが!】

○研究や交流に関する様々な情報が得られます

会報、メールマガジン、ホームページ等を通じて、イベント等の情報を定期的に受け取れます。

○人的なネットワークを拡げることができます

学会事業への参加を通じ、地方自治体職員、NPO関係者、学識者等と知り合い、組織や職種を越えて交流を拡げることができます。

○主体的に研究に取り組むことができます

研究発表大会での発表やディスカッションを通じて、研究を深め、プレゼンテーション能力を身につけることができます。

○資金助成を受けて研究活動ができます

グループで研究をしたい人やセミナー等を企画・実施しようとする人には資金面で一定の援助が受けられます。また、交流先の全米公共・行政学会（ASPA）が主催するセミナー等に参加する場合に資金助成が受けられます。

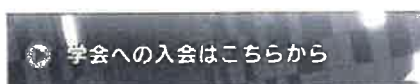
会員になるには・・・

年会費 2,000 円。次のいずれかに該当する方ならどなたでもご入会いただけます。

兵庫県職員、県内市町職員、県内に在住又は在勤の学識者・NPO 職員・本会の目的に賛同される個人

【入会方法】（申込みは兵庫自治学会HPより簡単に行えます。）

トップページ (<http://hapsa.net/>) メニュー中▶



学会への入会はこちらから をクリックの上、
「入会フォーム」に必要事項を記入し送信してください。

メールマガジン登録のご案内

兵庫自治学会ではメールマガジン（月1～2回）を活用し、タイムリーに各種事業の案内を行っています。まだご登録でない方は、ぜひご登録ください。

【登録方法】兵庫自治学会ホームページより簡単に行えます！

トップページ(<http://hapsa.net/>)→メニュー中▶



メールマガジンの登録・解除をクリックすると簡単に手続きいただけます。

